

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-242701

(43)Date of publication of application : 07.09.2001

(51)Int.Cl.

G03G 15/08

(21)Application number : 2000-051467

(71)Applicant : OKI DATA CORP

(22)Date of filing : 28.02.2000

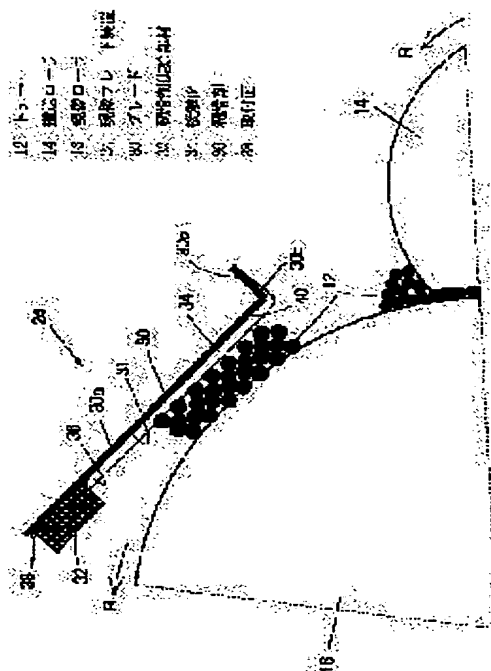
(72)Inventor : OSHIKA HIROTAKA  
ANDO KOICHI  
MIZUTANI TAKAO  
SUZUKI MASAYUKI

## (54) DEVELOPING BLADE DEVICE AND DEVELOPING DEVICE

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To restrain the adhesion of toner to a blade and to contribute to excellent image forming in a developing blade device used to form a toner thin layer on a developing roller in cooperation with the developing roller.

**SOLUTION:** This blade device is provided with a supply member 32 supplying lubricant 36 for preventing the adhesion of the toner to the contact surface 34 of the blade 30 arranged near the peripheral surface of the developing roller 16. For example, a lubricant impregnated member is attached to an attaching surface 38 connected to the contact surface 34, and the lubricant 36 oozed out from the impregnated member is supplied to the contact surface 34. It is conceivable to provide the impregnated member at a place opposed to the roller 16 instead.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-242701

(P 2 0 0 1 - 2 4 2 7 0 1 A)

(43)公開日 平成13年9月7日(2001.9.7)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>

G03G 15/08

識別記号

504

FI

G03G 15/08

テーマコード (参考)

504 A 2H077

504 B

審査請求 未請求 請求項の数 6 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願2000-51467(P 2000-51467)

(22)出願日 平成12年2月28日(2000.2.28)

(71)出願人 591044164

株式会社沖データ

東京都港区芝浦四丁目11番地22号

(72) 發明者 大鹿 啓孝

東京都港区芝浦4丁目11番地22号 株式会社  
沖デ一夕内

(72)発明者 安藤 紘一

東京都港区芝浦4丁目11番地22号 株式会社  
沖データ内

(74)代理人 100083840

弁理士 前田 実

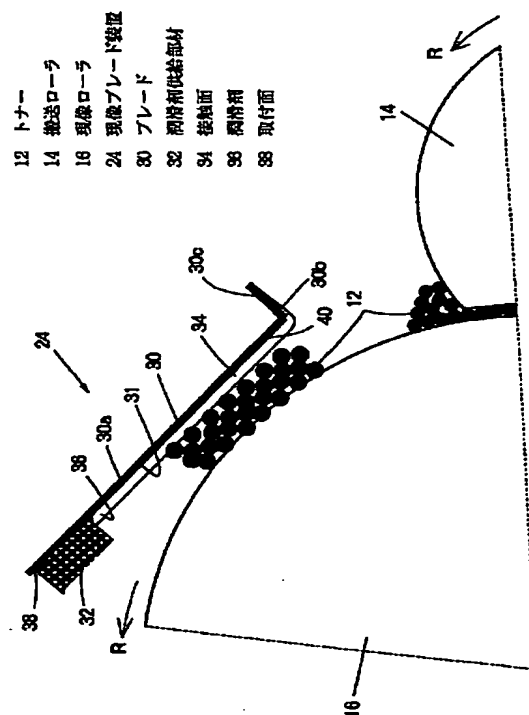
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 現像ブレード装置及び現像装置

(57) 【要約】

【課題】 現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーを薄層化するために用いられる現像ブレード装置において、ブレードへのトナーの付着を抑制し、良好な画像形成に寄与する。

【解決手段】 現像ローラ（１６）の周面の近傍に配置されるブレード（３０）の接触面（３４）に、トナーの付着を防止するための潤滑剤（３６）を供給する供給部材（３２）を設ける。例えば、接触面（３４）に繋がった取付面（３８）に潤滑剤含浸部材を取り付けておき、この含浸部材から染み出した潤滑剤（３６）を接触面（３４）に供給する。代りに含浸部材を現像ローラ（１６）に対向する部分に設けてもよい。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーの層の厚さを均一にするために用いられる現像ブレード装置において、

現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに接する接触面を有するブレードと、  
上記接触面に、該接触面へのトナーの付着を防止するための潤滑剤を供給する供給部材とを備えたことを特徴とする現像ブレード装置。

【請求項 2】 上記ブレードが上記接触面に繋がった取付面をさらに有し、

上記供給部材が、上記ブレードの上記取付面に取り付けられ、潤滑剤を含浸させた含浸部材を有することを特徴とする請求項 1 に記載の現像ブレード装置。

【請求項 3】 現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーの層の厚さを均一にするために用いられる現像ブレード装置において、  
現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに接触する接触部が、トナーの付着を防止するための潤滑剤を含浸させた含浸部材で構成されていることを特徴とする現像ブレード装置。

【請求項 4】 現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに対向する対向面を有するブレードをさらに有し、  
上記含浸部材が上記対向面に取り付けられていることを特徴とする請求項 3 に記載の現像ブレード装置。

【請求項 5】 現像ローラの周面の近傍に配置され、現像ローラとの間に、トナーの層の厚さを決める略一定のギャップを形成するブレードを有し、  
上記含浸部材が上記ブレードを兼ねていることを特徴とする請求項 3 に記載の現像ブレード装置。

【請求項 6】 請求項 2 のブレード装置と現像ローラとを備え、

上記取付け面が上記接触面よりも上方に位置し、かつ上記接触面が上記現像ローラに近接するように取り付けたことを特徴とする現像装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、プリンタ、ファクシミリ等の電子写真プロセスを用いた画像形成装置に用いられる現像装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 プリンタ、ファクシミリなどの電子写真プロセスに用いる画像形成装置は例えば図 4 に示すように形成されている。同図において、帯電ローラ 2 により帯電した感光ドラム 4 は、印刷すべき画像に応じて、LED アレイ 6 からの光（又は図示しないレーザからの変調光）によって選択的に露光され、非露光部との間に電位差が生じ、静電潜像が形成される。一方、トナーカートリッジ 8 からトナー収容室 10 に注ぎ込まれる粒状の

トナー 12 は、トナー収容室 10 内に配置された搬送ローラ 14 の回転、並びに搬送ローラ 14 及び感光ドラム 4 に接触し、搬送ローラ 14 と同方向に回転する現像ローラ 16 の回転により、さらに後述のようにして付与される静電力によって、感光ドラム 4 に供給され、静電潜像に選択的に付着することにより、現像が行なわれて、感光ドラム 4 上にトナー像が形成される。この後感光ドラム 4 上のトナー像は転写ローラ 18 に対向する位置において、記録紙 20 に転写される。その後クリーニングローラ 22 によりクリーニングされ、再び帯電ローラ 2 に対向する位置で帯電する。

【0003】 上記のように、トナー 12 は、搬送ローラ 14 と現像ローラ 16 の回転によって搬送されるのみならず、静電力（クーロン力）によっても搬送される。即ち、搬送ローラ 14 及び現像ローラ 16 との摩擦によりトナー 12 を負に帯電させるとともに、搬送ローラ 14（のシャフト）に第 1 の負の電圧、例えば -480 V を印加し、現像ローラ 16（のシャフト）に上記第 1 の負の電圧よりも小さな値の負の電圧、例えば -240 V を印加して、これら 2 つのローラの表面間に電位差を生じさせ、トナー 12 を静電力によって現像ローラ 16 に付着させる。

【0004】 この際、現像ローラ 16 上のトナーは、感光ドラム 4 との接触部分に達するより前に現像ブレード（ドクターブレード）24 により厚さを均一にされる（薄層化される）。即ち、上記のようにして現像ローラ 16 に乗せられたトナー 12 の層は、不均一であり、また厚さが過大である。そこで、現像ローラ 16 の上から現像ブレード 24 を押し付けてトナー 12 の層の厚さを適切な一定の値にする。トナー 12 が負に帯電しているため、現像ローラ 16 と現像ブレード 24 の間の電位差による静電力によりトナー 12 が現像ブレード 24 に引き付けられるのを防ぐために、現像ブレード 24 に現像ローラ 16 のシャフトと同じ電圧を印加する。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように、現像ブレード 24 に電圧を加えても、トナー 12 は幾分現像ブレード 24 に付着して堆積し、現像を繰返すうちに堆積量が增大する。また、トナー 12、現像ローラ 16、現像ブレード 24 の間で摩擦を生じるため、トナー 12 の形態が崩れて（粒が押しつぶされてフィルム状となり）現像ブレード 24 の表面に固着するフィルミング現象が見られるようになる。フィルミング現象を起こした現像ブレード 24 では、表面が凸凹になる結果、現像ローラ 16 上に均一なトナー層を形成することができなくなるため、感光ドラム 4 への付着が不均一となり、現像された画像が不良なものとなる。本発明は、上記の問題を解決し、トナーの付着やフィルミングの発生を抑制することができる現像ブレード装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本願第1の発明の現像ブレード装置は、現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーの層の厚さを均一にするために用いられる現像ブレード装置において、現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに接する接触面を有するブレードと、上記接触面に、該接触面へのトナーの付着を防止するための潤滑剤を供給する供給部材とを備えたことを特徴とする。上記ブレードが上記接触面に繋がった取付面をさらに有し、上記供給部材が、上記ブレードの上記取付面に取り付けられ、潤滑剤を含浸させた含浸部材を有するものであっても良い。

【0007】本願の第2の発明の現像ブレード装置は、現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーの層の厚さを均一にするために用いられる現像ブレード装置において、現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに接触する接触部が、トナーの付着を防止するための潤滑剤を含浸させた含浸部材で構成されていることを特徴とする。現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに対向する対向面を有するブレードをさらに有し、上記含浸部材が上記対向面に取り付けられているものであっても良い。現像ローラの周面の近傍に配置され、現像ローラとの間に、トナーの層の厚さを決める略一定のギャップを形成するブレードを有し、上記含浸部材が上記ブレードを兼ねているものであっても良い。

【0008】本願第3の発明の現像装置は、現像ローラと協働して現像ローラ上のトナーの層の厚さを均一にするために用いられる現像ブレード装置であって、現像ローラの周面の近傍に配置されて、現像ローラの周面上のトナーに接する接触面を有するブレードと、上記接触面に、該接触面へのトナーの付着を防止するための潤滑剤を供給する供給部材とを備え、上記ブレードが上記接触面に繋がった取付面をさらに有し、上記供給部材が、上記ブレードの上記取付面に取り付けられ、潤滑剤を含浸させた含浸部材を有する現像装置と、現像ローラとを備え、上記取付面が上記接触面よりも上方に位置し、かつ上記接触面が上記現像ローラに近接するように取り付けたことを特徴とする。

## 【0009】

【発明の実施の形態】実施の形態1. 図1は、本発明の実施の形態1の現像ブレード装置を示す側面図である。このブレード装置が取り付けられる画像形成装置の全体的構成は例えば図4に示す如くである。図1には、図4の装置のうち、搬送ローラ14、現像ローラ16及び現像ブレード装置24のみが示してある。搬送ローラ14は金属製のシャフトの外周に、発泡ゴムの筒状体を形成したものである。発泡ゴムを用いるのは、トナーの搬送特性を良好にするためである。現像ローラ16は、金属製のシャフトの外周に半導電性弾性ゴムの筒状体を形成

したものである。現像ブレード装置24は、図4に示すように、画像形成装置の筐体26に、取付部材28を介して取り付けられている。

【0010】現像ブレード装置24は、金属製のブレード30と、潤滑剤供給部材32とを有する。ブレード30は、略矩形であって、その幅（現像ローラ16の軸の延びた方向、即ち図1の紙面に垂直の方向の寸法）が現像ローラ16の長さと同程度で、かつ斜上方から斜下方に延びた平板部30aと、平板部30aの下端30bから平板部30aに対して略直角の方向で、かつ現像ローラ16の周面から遠ざかる方向に延びた折曲げ部30cとを有する。平板部30aの、現像ローラ16側の面が平面31を構成しており、その下端付近の部分が接触面34を構成し、上方部分が取付面38を構成している。接触面34は、現像ローラ16の周面の近傍に配置されて、現像ローラ16の周面上のトナー12に接する。

【0011】取付け面38には、潤滑剤供給部材32が取り付けられている。潤滑剤供給部材32は、接触面34に、接触面34へのトナー12の付着を防止するための潤滑剤36を供給するものであり、潤滑剤を含浸させた含浸部材で形成されている。含浸部材としては、例えば、スポンジゴムが用いられる。このスポンジゴムは、ブレード30の幅方向に延びた帯状のものであり、ブレード30の幅全体にわたって延びているのが望ましい。潤滑剤としてはトナーと混合した際、トナーの流動性を下げないものであることが必要とされることから、例えばフッ素変性シリコンオイルが用いられる。更に、分子量の大きなものはトナーの流動性を下げやすいことから、例えば平均分子量50のフッ素変性シリコンオイル（例えば信越シリコン社製、商品名FL50）が用いられる。添加量は、例えばスポンジゴム100重量部につき5〜30重量部含浸させる。

【0012】ブレード30は、所定の押圧力で現像ローラ16に押し付けられ、現像ローラ16との間に、トナーの層の厚さを決める略一定のギャップを形成するもので、そのために必要な充分な剛性を備えている。

【0013】このような構成であると、現像装置の使用時、スポンジゴムに含浸させた潤滑剤が次第に染み出し、ブレード30の平面31を伝わって接触面34に達し、潤滑剤の膜40を形成する。この結果、トナー12がブレード30と直接に触れることが少なくなり、トナー12がブレード30に付着しにくくなり、また一旦付着したトナー12も容易に剥離される。従って、トナー12の固着ないし堆積が起りにくい。また、ブレード30とトナー12との摩擦が軽減されて摩擦熱が抑えられ、トナーが摩擦熱により融解したり変形したりするのを防ぐことができる。これらの結果、現像ブレード装置におけるトナー12のフィルミング現象の発生を防止ないしは抑制することができる。

【0014】また、上記のように、接触面34とは異なる

る位置に設けられた取付面38に含浸部材32を取り付けているので、含浸部材32の寸法についての制約が少なく、大量の潤滑剤を含浸させることができ、従って長期間にわたって潤滑剤の供給を続け、トナーの付着やフィルミング現象の発生を防止ないし抑制することができる。さらに、接触面34とは異なる位置に設けられた取付面38に含浸部材32を取り付けているので、含浸部材32の硬さないしは柔軟性などについての制約が少なく、含浸特性を中心に最適の材料を選ぶことができる。

【0015】さらに図1に示すように、含浸部材の取付面を接触面よりも上方に位置するように現像ブレード装置を配設することにより、潤滑剤を確実に接触面に供給することができる現像装置を得ることができる。

【0016】なお、図示のブレードは平板部30aと折曲げ部30cとを有するが、代りに湾曲した形状のものでも良い。また他の形状でも良い。しかし、接触面と取付面が繋がっていることが必要であり、連続しているのが望ましい。

【0017】実施の形態2。図2は、本発明の実施の形態2の現像ブレード装置を示す側面図である。このブレード装置が取り付けられる画像形成装置の全体的構成は例えば図4に示す如くである。図1と同様、図2には、図4の装置のうち、搬送ローラ14、現像ローラ16及び現像ブレード装置44のみが示してある。搬送ローラ14及び現像ローラ16は図1について説明したのと同様に構成されている。この実施の形態の現像ブレード装置44も、図4に示すように、画像形成装置の筐体26に、取付部材28を介して取り付けられている。

【0018】実施の形態2の現像ブレード装置44においては、図1のブレード30と同様のブレード30の平面31の現像ローラ16に対向する部分が取付面を構成し、この部分に潤滑剤供給部材46が取り付けられてあり、この潤滑剤供給部材46の表面48が接触面を構成する。潤滑剤供給部材46は、図1のものと同様に、潤滑剤を含浸させた含浸部材で形成されている。含浸部材としては、トナーの帯電性に優れたシリコンゴムを用いるのが好ましいが、ウレタンゴムであっても良い。

【0019】以下に、上記の含浸部材の製造方法を示す。まず、シリコンやウレタン等の主原料ゴムにカーボンブラック等の導電剤を混入し、半導電性ゴムストックを調整する。次に、架橋剤等の添加剤とともに、潤滑剤を例えばゴム100重量部に対して5〜30重量部添加し、混練した後、板状に成形し、加圧、加熱処理を行う。得られた板状のゴムを所望の形状に合わせて切断した後、現像ブレードに接着する。

【0020】潤滑剤としては、例えば前述の実施の形態1と同様に、平均分子量50のフッ素変性シリコンオイル（例えば信越シリコン社製、商品名FL50）を用いることができる。ここで、比較例として平均分子量100のフッ素変性シリコンオイル（同FL100）

を用いたところ、含浸部材からオイルが染み出しにくく、本発明による効果が十分に得られなかった。このことから、成形当初オイルはゴムの分子間に保持されており、その後、徐々にゴム分子の間を通過して表面に染み出してくると考えられる。従って、オイルの分子の大きさ（分子量）がゴムの分子間の距離よりも大きくなればゴムからオイルは染み出してこないことになるため、用いるオイルとしては平均分子量が50以下のものであることが望ましい。以上のことはソリッドゴムと発泡ゴムとで違いが見られないことから、含浸部材に用いるゴムとしてはソリッドゴム、発泡ゴムのいずれであっても良い。発泡ゴムを用いる場合、発泡剤は、混練前、架橋剤等とともに添加する。

【0021】また、含浸部材は図1の場合と同様、現像ブレードの幅方向（現像ローラ16の軸方向）に延びた帯状のものであり、現像ブレードの幅全体に渡って延びているのが望ましい。現像ブレードとしては、例えば金属製のものをを用いることができる。

【0022】このような構成であると、現像装置の使用時、ソリッドゴムに含浸させた潤滑剤が次第に染み出す。この染み出しは、現像ローラとの摩擦によりソリッドゴムが次第に削られることにより促進される。潤滑剤が染み出す結果、ソリッドゴムの表面48に潤滑剤の膜50が形成される。このため、トナー12のブレード30や潤滑剤供給部材46への付着を防ぎ、また一旦付着したトナー12も容易に剥離される。従って、トナー12の固着ないし堆積が起りにくい。また、ブレード30とトナー12との摩擦が軽減されて摩擦熱が抑えられ、トナーが摩擦熱により融解したり変形したりするのを防ぐことができる。また、接触部がゴムであるので、金属のブレードに比べ柔らかく、ブレードからトナーに加わる力が小さい。これらの結果、現像ブレード装置におけるトナー12のフィルミング現象の発生を防止ないしは抑制することができる。

【0023】また、上記のように、現像ローラ16に対向する部分に潤滑剤供給部材46が取り付けられているので、潤滑剤供給部材から染み出した潤滑剤が無駄なく有効に利用される。

【0024】なお、図2に示すように平板部を有するブレードの代りに、湾曲したブレードを用いても良い。

【0025】実施の形態3。図3は、本発明の実施の形態3の現像ブレード装置54を示す側面図である。このブレード装置54が取り付けられる画像形成装置の全体的構成は例えば図4に示す如くである。図1には、図4の装置のうち、搬送ローラ14、現像ローラ16及び現像ブレード装置54のみが示してある。搬送ローラ14及び現像ローラ16は、図1のものと同様に構成されている。この実施の形態の現像ブレード54装置も、図4に示すように、画像形成装置の筐体26に、取付部材28を介して取り付けられている。

【0026】実施の形態3のブレード装置54は、ブレード56を有し、このブレード56自体が、潤滑剤供給部材を兼ねている。即ち、このブレード56は、図2の潤滑剤供給部材と同様に、潤滑剤を含浸させた含浸部材で形成されている。含浸部材としては、例えば、実施の形態2と同様に、トナーの帯電性に優れたシリコーンゴムを用いるのが好ましいが、ウレタンゴムであっても良い。また、ブレード56は、所定の押圧力で現像ローラ16に押し付けられ、現像ローラ16との間に、トナーの層の厚さを決める略一定のギャップを形成するもので、それに必要な充分な剛性を備えている。潤滑剤としては、前述の実施の形態と同様に、例えばフッ素変性シリコーンオイル（例えば信越シリコーン社製、商品名FL50）が用いられ、例えばゴム100重量部に対して5〜30重量部含浸させるのが望ましい。

【0027】このような構成であると、現像装置の使用時、ゴムに含浸させた潤滑剤が次第に染み出す。この染み出しは、現像ローラとの摩擦によりゴムが次第に削られることにより促進される。潤滑剤が染み出す結果、ゴムの表面58に潤滑剤の膜60が形成される。このため、トナー12のブレード56への付着を防ぎ、また一旦付着したトナー12も容易に剥離される。従って、トナー12の固着ないし堆積が起りにくい。また、ブレード56とトナー12との摩擦が軽減されて摩擦熱が抑えられ、トナーが摩擦熱により融解したり変形したりするのを防ぐことができる。これらの結果、現像ブレード装置におけるトナー12のフィルミング現象の発生を防止ないしは抑制することができる。

【0028】また、実施の形態2と同様に、ブレード56自体から潤滑剤が染み出すので、染み出した潤滑剤が無駄なく有効に利用される。また、ブレードが潤滑剤含浸部材を兼ねているので、部品点数を少なくすることができ、故障を少なくすることができる。さらに、ブレード全体を含浸部材で構成するので、大量の潤滑剤を含浸させることができ、長期間にわたって、トナーの付着を防止する効果を発揮させることができる。

【0029】図3に示すブレードは湾曲しているが、図1や図2の示すものと同様、平板部分を有するものとしても良い。

【0030】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、潤滑剤を供給する部材を設けたので、接触面へのトナーの付着を抑制することができ、良好に画像形成を行うことができる。

【0031】請求項2の発明によれば、接触面とは異なる位置に含浸部材を設けるので、含浸部材の寸法などに関する制約が少なく、従って例えば大量の潤滑剤を含浸させた含浸部材を設けることができ、長期間にわたって良好な付着防止性ないし剥離性を確保することができる。また、含浸部材の硬さないし柔軟性に関する制約も少ないので、含浸特性を中心にして最適の材料を選択し得る。

【0032】請求項3の発明によれば、トナーに接触する部分自体から潤滑剤が染み出すので、染み出した潤滑剤が有効に利用される。

【0033】請求項4の発明によれば、ブレードと含浸部材をそれぞれ別個の材料で形成し得るので、それぞれの役割に応じて最適な材料を選択し得る。

【0034】請求項5の発明によれば、現像ブレード装置を構成する部品数を減らすことができ、これに伴い故障を減らすことができる。また、ブレード全体を含浸部材で構成するので、大量の潤滑剤を含浸させることができ、長期間にわたって、トナーの付着を防止する効果を発揮させることができる。

【0035】請求項6の発明によれば、取付面に取り付けられた潤滑剤供給部材からの潤滑剤が確実に接触面に供給される。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態1の現像ブレード装置を現像ローラ及び搬送ローラとともに示す側面図である。

【図2】 本発明の実施の形態2の現像ブレード装置を現像ローラ及び搬送ローラとともに示す側面図である。

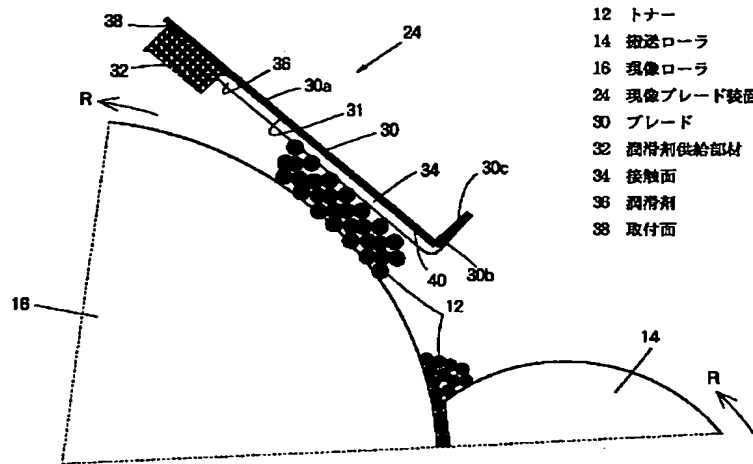
【図3】 本発明の実施の形態3の現像ブレード装置を現像ローラ及び搬送ローラとともに示す側面図である。

【図4】 本発明の現像ブレード装置が用いられる、画像形成装置の内部を示す概略図である。

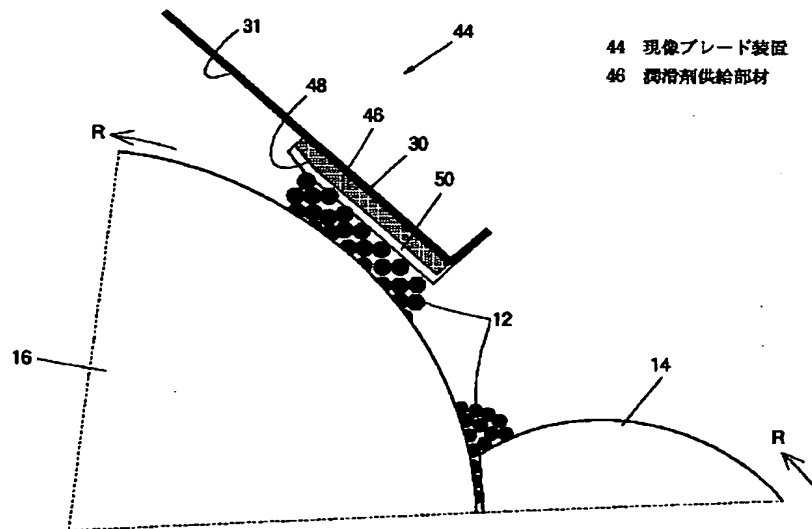
#### 【符号の説明】

12 トナー、 16 現像ローラ、 30, 56 ブレード、 32, 46 潤滑剤供給部材、 34 接触面、 38 取付面。

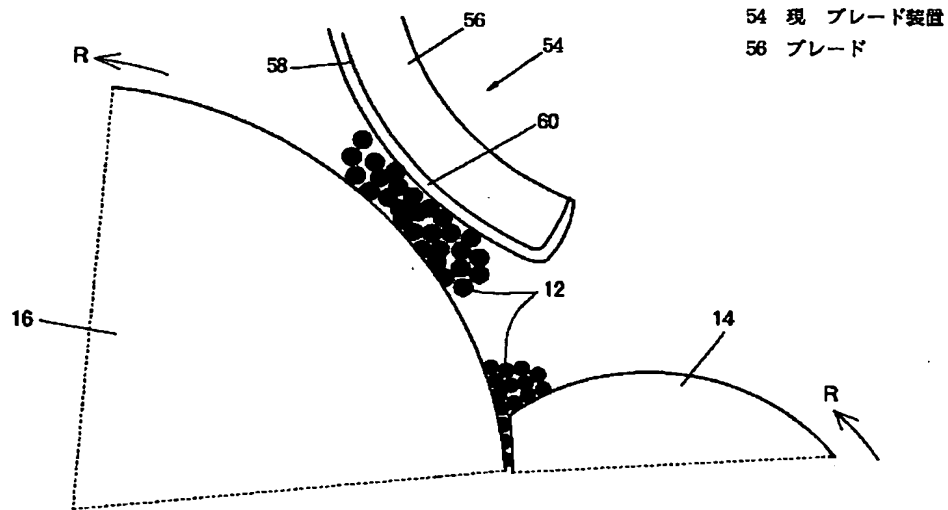
【図1】



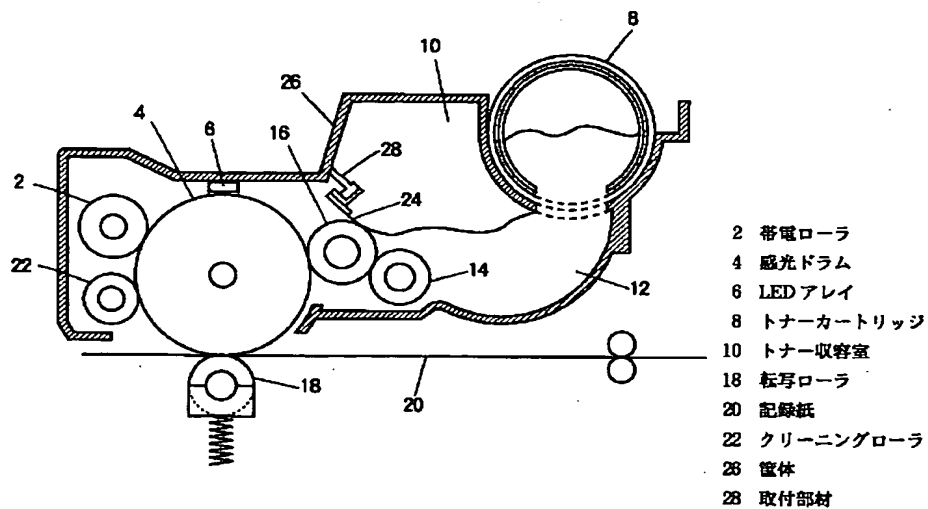
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 水谷 孝夫  
東京都港区芝浦4丁目11番地22号 株式会  
社沖データ内

(72)発明者 鈴木 雅之  
東京都港区芝浦4丁目11番地22号 株式会  
社沖データ内

Fターム(参考) 2H077 AC04 AD06 AD13 AD17 EA15

GA03